

《共通基礎科目 情報科目》

科目名	情報応用演習 B				
担当者氏名	大隅 敏明				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	4年・秋期

《授業の概要》

情報整理・提供の方法・ツールなどの種類について学ぶ。社会活動に関する情報収集・活用ができるようにする。特に、情報を求める相手に合わせての対処ができるようにする。目指す検定は授業開始後1か月以内に担当教員に伝え、授業終了時までには検定を受験すること。当初に予定した検定に合格した学生のみ単位が与えられる。授業で得た知識を教育・保育活動などに活かすための演習を行う。

《授業の到達目標》

情報応用演習 Bは、P検、MOUS、ITパスポートなど、検定試験合格を目指して必要な知識・技能の習得を目指す。

《成績評価の方法》

授業態度 20%、検定試験 80%

検定試験に合格しなかった学生には単位が与えられないので注意すること

《テキスト》

なし

《参考図書》

なし

《授業時間外学習》

検定合格のために必要な知識や技術は、授業外での学習が不可欠である。模擬試験問題などを積極的に解き、点数の向上を目指すこと。情報応用演習 Aを学習したものは、さらなる技術の向上が求められることに留意すること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	合格目標の設定
2	模擬試験	インターネット上で公開されている模擬試験に取り組み、出題傾向や現在の實力などを探る
3	タイピング	タイピングの練習を行い、スキルアップを目指す。
4	パソコン一般知識	一般的なパソコンの知識を学ぶ。
5	LANとインターネット	インターネットに関する知識を学ぶ。
6	情報倫理	情報倫理に関する問題の演習を行う。
7	ワープロ	ワープロソフトに関する検定問題の演習を行う。
8	表計算	表計算ソフトに関する検定問題の演習を行う。
9	ビジネス文書の作成演習	ビジネス文書作成に関する検定問題の演習を行う。
10	まとめ(1)	これまで学んだ知識、技能に関する検定問題の演習を行う。
11	実践演習	実際の検定試験を意識した演習を行う。
12	情報整理・提供	情報整理と情報提供の方法に関する検定問題の演習を行う。
13	情報ツール	情報ツールの種類や活用方法に関する検定問題の演習を行う。
14	情報収集	社会活動における情報収集の方法に関する検定問題の演習を行う。
15	まとめ(2)	実際の検定試験を意識した演習を行い、検定試験の受験に備える。